

KISC

財団法人 かがしま産業支援センター
Kagoshima Industry Support Center

創業や経営革新に
取り組むあなたを応援します。

CONTENTS

- 02 この人に聞く
- 03 女性経営者登場
- 04 特集 がんばってます
- 06 研究開発の現場
- 07 農商工連携支援決定
- 08 「かがしまモノづくり推進協議会」を設立
(鹿児島県産業立地課)
- 09 活用ください！新産業育成課
- 10 実践！IT活用
- 12 受発注情報
- 13 Information
 - 中小企業テクノフェアin九州2009の御案内 等
- 16 上野原ビジネスプラザ・インキュベーションルーム利用の御案内
「かがしま企業情報」への掲載の御案内
センターホームページ「KISCネット21」の御案内

日本澱粉工業株式会社
代表取締役社長 本坊治國 氏

6月号

June 2009

この人に聞く！

難局を乗り越え南部九州の拠点都市へ



鹿児島商工会議所 会頭 諏訪秀治

昨年夏、アメリカに端を発した金融危機は、世界規模の景気後退を招き、日本経済にも大きな影響を与えました。特に地方都市においては、少子高齢化の進展、低迷する雇用情勢や都市間・企業規模間で生じた格差などと相まって、経済と社会の両面で非常に厳しい情勢となっています。

このような中で、鹿児島は九州新幹線全線開業を2年後に控え、地域間競争への対策が急務となっています。また、道州制の議論も高まっていますが、将来にわたって、鹿児島が九州の中で強い輝きを放ち続ける地域であるためにも、他の都市にない独自の素材を生かした街づくりを進め、同時に九州の重要な拠点としての地位を確立していく必要があります。

鹿児島の強みは、豊かな自然と歴史や文化、そして農業をはじめとする全国屈指の1次産業です。また、本土最南端という本県の位置も、成長著しいアジア諸国との交流拠点を築くには絶対的な優位性をもっています。

これらの特性を生かした鹿児島らしい街づくりや、総合産業であり地域経済への波及効果が高い観光の振興、そのための国内外と鹿児島を結ぶネットワークの整備、そして農商工の連携による新たな産業の創出など、鹿児島の活性化に向けて、行政や関係機関と連携して積極的に取り組んでいきたいと考えています。

特に、地域経済を支え、鹿児島の発展を担う中小企業の活力強化は最優先課題と捉えています。鹿児島商工会議所は、今日の切迫した金融経済情勢に鑑み、中小・小規模事業者の拠りどころにさせていただくために経営支援総合対策本部を本年3月末に設置しました。ここでは緊急保証制度やセーフティーネット貸付など特別融資の普及促進やその他の融資の斡旋をしているほか、金融制度説明会の開催なども予定しており、中小企業の資金繰り支援を重点的に行っています。

また、利便性の高いワンストップ専門相談会、専門家派遣、各種相談会の実施で皆さまの経営課題の解決を支援するほか、事業承継や事業再生、創業・経営革新など、中小企業の経営改善・基盤強化に向けて幅広い分野で総合的な事業を展開しています。

先行きに不透明感が一層強まりつつある中ではありますが、この難局を乗り越え、皆さんと一丸となって地域づくりに取り組み、「一灯照隅、万灯照国」の言葉が示すとおり、それぞれの企業が輝き、その光で全体が包まれるような鹿児島を、そして北部九州と双璧をなす南部九州をつくり上げたいと強く念願しております。

当商工会議所や（財）かごしま産業支援センターの実施するあらゆる施策を活用して、皆さまの企業が益々発展し、鹿児島や南九州がどこにも負けない地域になる事を切望しています。

女性経営者登場!

素敵な自然の中で



有限会社
waiwai アトリエ
代表 原田 則子

waiwai アトリエ
霧島市牧園町宿窪田2972-9
Tel 0995-76-0333

森のテラス 夢楽
霧島市牧園町丸尾

経営方針は「女の学校」

「霧島のすてきな自然の中で、夢や楽しい暮らしを提案します」というコンセプトと、安心で安全な地域の食材を活かしたジャムやドレッシングなどの加工食、木綿で作ったシンプルなデザインのTシャツやワンピースの販売、レストラン「午後のテラス」は、霧島の季節を感じながら仲間たちとの楽しいおしゃべりとおいしいランチバイキング、霧島で自分たちらしく暮らしたいと女性たちが設立した会社です。

平成元年、仲良しグループ「waiwai あとりえ」を立ち上げました。自分たちの持ついる少しの技術を活かし、そこそこのやりがいとそこそこのこづかいを稼げばいい働き方が始まったのです。企業経営のこわさを知らない主婦たちが、平成3年「waiwai アトリエ」を法人化しました。気がつくといつか「女の学校」という経営方針が出来上がっていました。

皆と一緒に

女の学校は、毎日毎日問題を抱えています。笑顔のない接客やおいしくない味の原因は夕べの夫との喧嘩が原因だったり、家のトイレのタオルは毎日換えても集団になると誰かがするだろうと思っ



<waiwai アトリエ>

たり、お客様にお茶がいいのかコーヒーが飲みたいのか相手の求めるサービスがわからなかったり、また、家庭を一番に考えPTAも必ず行くという両立。「霧島」という地域があつてこそこのwaiwai アトリエだから：」なんていくらかっこいいこと言っちゃって、「経営が成り立たないと話にならないし：」でも方法論で解決しようとするほど方法論で対処しようとする皆もいます。

私は、自分が何をやりたかったのかを問い続けました。うつになり3ヶ月間会社に行けない時期も体験しました。その1年後乳がんという病気になりました。

そんな時「社長の本業は悩むこと」とシンブルな答えに出会いま

自分らしく生きる

ありとあらゆる方法を取りながら自分らしく生きたいという素直な思いに気づき、だからこそ地域活動や会社組織の中で少しづつ責任感や覚悟を育てているのだと思います。

これからもそんな自分たちを生きたるために、お客様や地域の仲間たち、共に働く仲間、家族など登場人物となってくださる皆様と向き合いながら 霧島での豊かな暮らしを目指して：



<森のテラス 夢楽>

がんばってます！

有限会社

霧島高原ロイヤルポーク

〈企業概要〉

所在地 霧島市霧島永水4962

創業 昭和63年9月

資本金 三〇〇万円

従業員数 4名

業種 畜産（豚）加工・販売

農商工連携認定 平成20年12月9日

（財）かごしま産業支援センターでは、平成20年度から始まった国の「地域力連携事業」に呼応し、3モデル事業（農商工連携、地域資源活用、新連携）を中心に、国の認定を目指す方々と一緒に考える伴走型支援を実施しています。平成20年度は、チャレンジされた企業の皆様の粘り強いご尽力により、農商工連携5件、地域資源活用3件、経営革新1件の合計9件も認定されました。今回は、この中からかごしま黒豚の国内・国外販路開拓を展開している（有）霧島高原ロイヤルポークを御紹介します。

かごしま黒豚の
香港輸出に向けて



代表取締役 平 邦範 氏

喜界島↓埼玉↓鹿児島へ

社長の平邦範さんは、喜界島伊実久で早町中学校卒業後に上京し、定時制高校に学んだ後、埼玉県川口市に仕出し店を開業。関東の奄美出身者郷友会（出身地域の親睦会）で御婦人から「昔の豚みそが食べたい。」と言われ、弾力性・甘味があり、歯切れの良い「昔の豚」を探し求めることとなりました。

昭和62年、鹿児島県庁の紹介で、霧島で育てられた黒豚と出会い、平成元年霧島に移り住み、以後、飼料、水、長い飼育期間な

ど、最高峰の黒豚を目指した情熱的な取り組みを継続しています。余り知られていませんが、平社長は、音楽、作詞等、多彩な才能に恵まれ、平資盛（すけもり）上陸八百周年記念コンサート（喜界島）、平家来島八百年記念祭（瀬戸内町加計呂麻島）いづれも平成17年の企画Ⅱをはじめ、産地・流通・消費者交流会である「黒豚を食べる会」（霧島）も実施中。また、伴久志（ばんひさし）のペンネームの作詞が霧島市歌に採用されたりしています。

これまでの取り組み

（有）霧島高原ロイヤルポークは、昭和63年9月、高級かごしま黒豚の販売、宣伝を業務として霧島市で創業しました。

スーパー、デパートでなく、レストラン、料理店、ホテル、空港との取引が中心で、霧島市に黒豚レストランも経営。東京でも積極的に事業を展開し、「黒豚といえど鹿児島」という鹿児島ブランドの浸透に貢献されました。

日本中で評価の高い黒豚ではあるものの、昨今の養豚農家そのものが減少していることに危機感を抱き、次世代へつなぐと平成20年2月、地元の中崎養豚などとともに農事組合法人霧島高原純粋黒豚牧場を設立し、黒豚生産、

体験観光、環境保全型畜産経営で評価を受け、平成20年4月に、国から「農商工連携88選」の一つに選定されました。年商約2億4千万円。

農商工連携と香港

（有）霧島高原ロイヤルポークは、国の「農商工連携事業」に関心があつた中で、前向きな事業活動が「農商工連携88選」に認められたこともあり、平成20年9月、地元銀行主催の香港視察商談会に参加したところ、「本物のかごしま黒豚」が香港マスコミで大きく取り上げられました。



＜（有）霧島高原ロイヤルポーク＞



＜よい環境で育てられる黒豚＞

もともとアジアは豚文化の圏域であるものの、中国の富裕層は牛肉志向が強く、ロイヤルポークとしては、圧倒的実力の「かごしま黒豚」であれば、富裕層のステイタスにできると考えられるとともに、食の安心・安全が特に強く叫ばれているこの時期を、「かごしまブランド黒豚」海外展開開始のタイミングとしてとらえ、農商工連携事業計画づくりを開始されました。

当センターの支援

平成20年7月に農商工連携事業について相談があり、**地域力連携拠点班、経営支援室**など、センター全体でサポートすることとしました。

中小企業基盤整備機構南九州事務所と十分連携しながら計画づく

りを精力的に進め、農事組合法人及び地元中崎養豚の肉豚生産技術とロイヤルポークの加工技術、流通ノウハウを連携させつつ、香港でのかごしま黒豚試食・宣伝、国内販路拡大、有機農法で生産した農産物（米、茶、果樹、野菜）の開発、改良を実施する内容まで練り上げられました。平成20年12月9日付けで国の認定。

その後の取組み・成果

海外展開については、情報が特に豊富な地元銀行のほか、JET RO（日本貿易振興機構）や鹿児島県香港駐在員とも連携するよう当センターから紹介し、また、独自の「ブランドきりしま」のロゴ、図柄の商標登録のための弁理

士を紹介しました。

平成20年9月以降、10・11月、平成21年1・3月と積極的に香港を訪問して、輸入業者、香港在住鹿児島県関係者、マスコミとの交流が深められました。

また、地元銀行の紹介で、香港の輸入業者の霧島視察訪問も受けられました。このようなことから、香港、日本両者でのマスコミ露出度が大幅にアップ！

さらに、国の認定が受けられたことから平成21年2月には、国の助成事業を活用して「**香港展示会・試食会**」による販路開拓事業を実施。現在までは、飲食業、食品卸業、食品輸入業、ホテル関係者、行政関係者等を対象とした試食、宣伝が中心。

今後の展開・アジアの拠点（ハブマーケット）香港

（例）霧島高原ロイヤルポークの積極果敢な香港展開により、本物の実力の「かごしま黒豚」人気が急上昇しています。

大量に売りさばくのではなく、例えば中国人富裕層のステイタスとして、本物のかごしま黒豚をしつかり定着させられる関係者をターゲットにしたり、地道な活動が進められると思われます。

また、平社長は、香港進出を契機として、中国全土、やがてはア



「ブランドきりしま」のロゴ



＜かごしま黒豚 商品のイメージ＞

ジア全体を見据えて、「**アジアの拠点（ハブマーケット）香港**」を大切に育てる考えであり、今回の一連の農商工連携事業活動を通して、地元鹿児島での雇用拡充にもつながるものと考えておられます。

当センターは、今後とも国、

県、中小企業基盤整備機構、試験研究機関、金融機関、県内商工会議所・商工会等と、正に「連携の総合力」が発揮されるよう企業側の目線を大切にしながら支援してまいります。

研究開発の現場

鹿児島大学水産学部 食品・資源利用学分野

鹿児島大学水産学部 食品・資源利用学分野では、食品およびバイオマス資源としての水産物の有効利用法について研究しています。

当研究室では、水産物の食品としての有効利用を目的に保蔵・加工技術の開発を行っています。



鹿児島大学水産学部
食品・資源利用学分野
准教授 進藤 稔

共同研究への問い合わせ
産学官連携推進機構産学官連携部門
コーディネーター 遠矢 良太郎
099-285-8498

最近の主な研究

飛魚残さいおよび廃糖蜜を利用した魚醤油の開発

平成15～17年実施の文部科学省「島嶼域水圏資源環境開発管理事業」の採択を受けて、西之表市から種子島において低利用の水産物および農産物を利用した特産加工食品の開発についての依頼を受けたのがきっかけで、飛魚すり身を製造する際に産出される頭や中骨などの残さいと製糖工程で産出される廃糖蜜を原料として用いて魚醤油を開発しました。

この魚醤油の特徴は、発酵期間が2週間であること、塩分濃度が従来の魚醤油の約3分の1であるにもかかわらず、飛魚の旨みがあり、しかも、魚臭さを低減した点です。刺身や冷奴などに、**かけ醤油**として利用できます（「魚醤油製造方法」・「魚臭さを軽減化した魚醤油製造方法」として特許出願中）。

平成19年に西之表市役所で技術説明会が開催され、技術供与を希望した西之表市内の2企業が「たねがしま魚醤（株）」を設立し、平成19年度かごしま産業支援センターの研究開発の助成を受け、生産技術の開発に鹿児島大学と西之表市と共に産学官で取り組み、商品化に成功し、「飛魚の

雫」が誕生しました。

さらに、平成19年10月には2007年かごしまの新特産品コンクールで奨励賞を受賞しました。



飛魚の雫

おからのペースト化による水産食品の開発

豆腐の製造時に、おからが80万トン／年産出されています。

その一部は、食品、飼料、きのこや微生物の培地として利用されていますが、その殆どは7～10円/kgの費用をかけて廃棄されています。おからの長所は、食物繊維、タンパク質、ミネラル等が多く含んでいる点ですが、短所は腐敗しやすく、パサパサとした食感を有することです。

そこで、おからをペースト化し、練り製品用すり身の副原料として利用する方法を検討しました。これにより、①ペースト化することで、おからの短所であるパサパサした食感が改善されて、種々の食品に利用が可能 became

産業廃棄物の軽減。②おからの栄養性を活かした水産練り製品（揚げ蒲鉾等）の製造とコスト低減が可能で（「おからのペースト化方法」として特許出願中）。

今後、商品化に向けて、テクスチャーのさらなる改善ならびにおからペーストを用いた加工食品の開発を目指しています。

加工食品原料として利用するエビの殻の軟化処理

錦江湾におけるナミクダヒゲエビの底曳網漁では、小型のエビであるジンケンエビ（長さ約7.5cm）が混獲されます。ジンケンエビは頭と殻の除去に手間がかかり、その上安価である理由から多くが廃棄されています。

そこで、殻を軟化させる技術の開発に取り組みました。青果物の未利用部から抽出した粗酵素液を利用しており、また、味覚および生鮮度の低下の抑制も考慮しています（「エビの殻の軟化方法」として特許出願中）。

これにより、①手作業による殻除去の省力化、資源の有効利用、②カルシウムを含みエビの風味を生かした水産加工食品が製造可能となり、今後商品化に向けて、軟化処理した小エビを用いた水産加工食品の開発を目指しています。

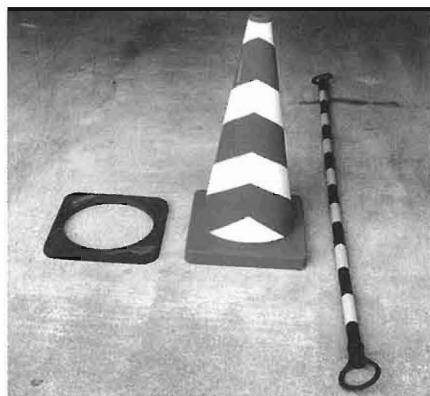
鹿児島県から新たに農商工連携の支援決定

九州農政局及び九州経済産業局は、中小企業者等から申請された「農商工等連携事業計画」について、平成21年2月20日付けで鹿児島県から新たに4件認定された。

木材（間伐材、曲がり材、端材）を原料とする木粉セーフティーコーン等の安全規制材の製造販売事業

中小企業者 鮎川建設株式会社
農林漁業者 高松林業（佐賀県）

未利用の間伐材や曲がり材、端材を活用し、木粉にしてプラスチックコーンと同等の耐久性・使用性を確保した木粉コーンやコーンバー等を開発製造。



開発予定の
コーンバー、コーンヘッド

芋麴用「乾燥サツマイモダイス」や「大隅の農産物を活用した乾燥粉末」の開発と販路開拓

中小企業者 株式会社オキス
農林漁業者 アネット有限公司

乾燥させたサツマイモを5ミリ角に切った「全量芋仕込み焼酎」用の「乾燥さつまいもダイス」を生産。さらに、乾燥技術を活かし、スイオウやゴマ、しいたけなどの季節の農産物を活用した乾燥粉末素材から健康食品を開発。



乾燥サツマイモダイス

鹿児島大学農学部開発「新種」トルコギキョウの生産及び販路開拓

中小企業者 日本有機株式会社
農林漁業者 有限会社高木生花店
株式会社医農さつま

鹿児島大学で開発された花色遺伝型交配法の技術をもとに、花卉仕入・卸小売を通じた市場ニーズに関する情報や種子の開発技術、種苗・花卉生産能力などを活用して、市場ニーズ対応型の新種トルコギキョウの種苗と切花を生産・販売。



新種のトルコギキョウ

高機能性素材「シマグワ」を利用した粉末桑葉の開発と販路開拓

中小企業者 マダム・ポー株式会社
農林漁業者 濱田農学部株式会社

桑葉の栽培技術及び農産加工技術を活かして、血糖値上昇を抑制する成分が多く含まれる「シマグワ」を活用した高機能性桑葉の新食品素材を開発。



シマグワの葉

農商工連携の支援は、平成20年7月21日に施行された「中小企業者と農林漁業者との連携による事業活動の促進に関する法律（農商工等連携促進法）」（平成20年法律第38号）第4条の規定に基づき、農林水産省と経済産業省が一体となって、中小企業者と農林漁業者のつながりを応援し、それぞれの強みを十二分に発揮した事業活動を支援することを目的としたものです。

「かごしまモノづくり推進協議会」を設立

鹿児島県の自動車・電子関連産業の振興を図るため、当該企業の従業員等の資質の向上、販路開拓、企業間における連携の促進等の取組を行い、企業の開発能力の向上や新たなビジネスチャンスの拡大に努めることを目的に、これまで組織していました「かごしま電子システムソリューション研究会」と「鹿児島県自動車関連産業ネットワーク」を統合し、「かごしまモノづくり推進協議会」を設立しました。

去る5月28日に設立総会及び「鹿児島県モノづくりセミナー」が開催され、電子制御を活用した自動車開発への取り組みや太陽光発電に関する講演があり、参加者の皆様が熱心に聴講していました。



設立総会及び「鹿児島県モノづくりセミナー」の様子

◇平成21年度活動計画

- ① 総会及び講演会・セミナー
 - ・総会 年1回
 - ・県実施の講演会、セミナーへの参加（年2回程度）
- ② 商談会・展示会への参加
 - ・九州のメーカー等を対象とした商談会、展示会への参加
- ③ かごしまモノづくり研究会
 - ・県主催の「かごしまモノづくり研究会」と連携した、トヨタ生産方式の定着化のための実地研修
- ④ 特定テーマによる部会
 - ・組込システム部会の設置
 - ・太陽電池部会の設置
- ⑤ 情報提供
 - ・各種商談会、講演会、事業募集等のメールによる案内等

◇協議会会員

- ① 正会員 73社
鹿児島県内に本社又は事業所を有し、かつ、当協議会の目的に賛同し、入会した企業。
（会長が特に認めた場合は県外企業も入会可）
- ② 支援会員 57団体・者
当協議会の目的に賛同し、協議会の活動を支援する法人、団体又は個人。
（財）かごしま産業支援センター、鹿児島県工業倶楽部、学関係者、県内各自治体などの県内の関係団体等

* 正会員の入会募集については、随時行っておりますので、下記事務局までお問い合わせください。

かごしまモノづくり推進協議会事務局

鹿児島県商工労働部産業立地課産業支援係 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号

TEL 099-286-2964 FAX 099-286-5578 E-mail sangyo@pref.kagoshima.lg.jp

活用ください！ 新産業育成課

新産業育成課では、中小企業の皆様が行う新事業の創出や販路開拓等に対し、支援を行っています。お気軽に御相談ください。

●ベンチャープラザ鹿児島「二水会」

ベンチャー企業等が開発した新製品・新技術を紹介するための発表の場を提供し、交流会等を通じ、販路拡大、資金調達等の促進を図るため、ベンチャープラザ鹿児島「二水会」を開催しています。平成21年度は、第1回目を5月20日（水）に開催し、今後8月・11月・2月の3回開催する予定です。



二水会でのプレゼンテーションの様子

●販路開拓助成事業

- 1 鹿児島県外で開催される展示会等で製品等を出展する際の搬送経費や小間料、小間装飾費、パンフレット印刷費等経費の一部を助成します。
- 2 製品等を紹介するビデオやDVD作成費の経費の一部を助成します。
- 3 技術・製品を開発する際に実施するマーケティングや技術評価の調査に要する経費の一部を助成します。
- 4 製品等の販路開拓のため県外で実施されるプレゼンテーションを行う者に対し旅費、宿泊費の一部を助成します。



展示会の様子

●中小企業活性化サポート事業

鹿児島県からの委託事業で、地域資源の活用や農商工連携など異分野の産業間での連携による新たな取組に的確に対応するため、中小企業サポーターが鹿児島県内の中小企業から直接、企業の現状、異分野の産業との連携の可能性などについて聞き取りを行い、鹿児島県及び(財)かごしま産業支援センターにおける今後の施策に反映させます。

問い合わせ先 (財)かごしま産業支援センター 新産業育成課

〒892-0821 鹿児島市名山町9番1号(鹿児島県産業会館2階)

電話:099-219-1272 FAX099-219-1279

URL: http://www.kric.or.jp/s_ikusei/top.html

実践！10活用

売れるホームページとは？

こんにちは、サイバーウェブの
小野です。ホームページ（以
下、HP）を公開したものの、ア
クセスが伸びないと悩んでおられ
る企業様も多いと思います。今回
は売れるHPにつきまして、御説
明させていただきます。

◇ユーザビリティについて

ユーザビリティとは、HPの使
いやささのことです。HPではさ
まざまな機能になるべく簡単な操
作でアクセスできることや、訪問
者が目標に到達するまでの時間を
短縮することが必要です。

例えば、お客様がサイトを訪れ
ても、探している商品がなかなか
見つからないとか、ひとつの操作を
誤っただけで入力内容がすべて消
えてしまうなどのストレスを受け
ると、不快感を持って別のサイト
に移動することもあります。この

ユーザビリティへの意識が売れる
HPにつながるのです。

◇ユーザビリティを意識した ホームページデザイン

ここでは、専門的な技術論ではな
く、売れるためのデザインについ
てご紹介いたします。弊社ではデ
ザインを作成する際に『Zの法
則』を重視しています。これは人
の目線の流れを意識したデザイン
のことです。



<http://www.cortex.jp/>

鹿児島市東千石町
エステスクール「コルテクス」のHP

右図のように人は無意識のうち
にZ型に視線を動かします。参考
に挙げたHPでは、ショップ情報
や講座スケジュールを上部に設
置、次に視点が動くところにお知
らせやコース紹介などを配置、一
番下にはプライバシーポリシーな
どを配置しています。視線の流れ
の中にもっとも重要なコース内容
を並べることで、自然と少ないク

検索結果↓商品一覧ページへ誘導（商品説明）
↓商品注文画面へ誘導↓注文

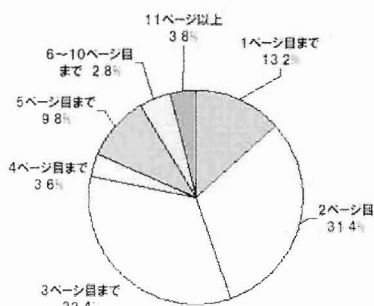
リックで情報へ誘導されるように
仕掛けています。このように視線
の流れを意識することでお客様の
目に留まる確率は格段に上がりま
す。自社のHPを今一度見直して
みてください。

◇ユーザビリティを意識すると 注文が増える？

ある調査では、欲しい情報を検
索エンジンで調べる際、検索結果
について四ページ目以降は見ない
と答えた人が約八割いたと報告さ
れています。

このことはHPにも当てはまり
ます。自社の商品（サービス）に
ついて、詳しく解説したいと思う
あまりに、何ページにもわたって
商品説明を続け、最後に問い合わせ

Q2 最初の検索で、検索結果画面は、何ページ目まで
見ますか？【単一回答】(n:500)



CNET Japanより抜粋

セフォームを設置しているHPが
見られますが、欲しい情報が簡潔
に説明され、すぐに次のアクショ
ン（注文・問い合わせ）に移れな
ければ、ユーザーは別のHPに逃
げてしまいます。最近の傾向で
は、少ないクリック数で目的を達
成させると注文・問い合わせ率が

また少ないアクションで目的へ誘導することは大切ですが、情報量が少なすぎるのも逆効果になりま
す。HPには、サイト運営者側の
発信したい情報ではなく、お客様
が欲しい情報を的確に明記した
《適度な情報》が必要なのです。

HPを公開したのに、思うようにアクセスが伸びないという相談をよく受けます。その際に弊社ではサイト診断を実施します。最近では、無料で使えるサービスもありますので、サイト診断した際に、チェックする項目についてご説明いたします。

相談者：鹿児島県大手流通会社
相談内容：約四年前にインターネット通販を始めたが、ほとんど注文がない。特に県外からの注文がない。（鹿児島県内の特産品を販売しており、県外からの注文を期待してネットショップをオープンした）

鹿児島県内においては知名度のある企業で、デザイン・システムについても素晴らしいHPでしたが、サイト診断の結果、二つの項目から、県外からのアクセスがな

い理由がはっきりしました。

ひとつは「被リンク数」です。

公開から四年も経過しているにしては、あまりにも少ない状況でした。外部からのリンクが少ないHPは人気のないサイトと判断されることもあるので、適切な被リンクが必要なのです。

もうひとつは「インデックス数」です。このサイトはYahoo!、Googleなどの検索エンジンにほとんど認識されていないHPだったのです。インデックス数とは、検索エンジンに認識されているページ数を意味します。例え百ページのHPであっても、検索エンジンに十ページしか認識されていなければ、アクセス率も極端に低くな

ります。インデックス数は、検索エンジン用のサイトマップを作成・登録することで、自動的にページが作られ、追加されます。これらのことは決して特別なことではありませんが、実はHPを「制作するノウハウ」と「運営するノウハウ」は別物で、HPを納品した後のフォローが出来ない制作会社があることもまた事実なのです。

インターネットの普及により、ビジネスにおいて都市と地方の格差は少なくなつたと感じています。弊社では宮崎県高千穂町の田舎でネット通販に注力しているお客様の支援も行っています。地方でも十分に戦えるビジネスツール

がHPです。その時々状況に応じて変化するHPを目指し、鹿児島から全国へ発信する企業様が少しでも増えるようにお手伝いさせていただきます。

受発注情報

当センターでは、仕事を発注・受注したい企業の希望条件（設備・技術力等）に見合った取引の紹介あっせんを行っております。 今月は、下記の企業から受注の申し込みがきておりますので、あっせんの御希望がありましたら御連絡ください。

また、センターのホームページでも御覧いただけます。（URL：<http://www.kric.or.jp>）

なお、あっせんにあたっては、

①まず、企業の登録手続きをお願いします。（希望に応じた紹介あっせんが円滑にできます）

②あっせんはすべて無料です。

◆受注情報

No.	所在地	資本金 (万円)	従業員数 (人)	受注希望品目 (加工内容)	主要機械設備
1	鹿児島市	300	16	ファインセラミックの 研削・研磨加工	万能研削盤、平面研削盤 ロータリー研削盤、ホーニング盤 旋盤、両面ラップ機、片面ラップ機 他

◆お問い合わせ先 (財)かごしま産業支援センター ビジネス支援課

TEL : 099-219-1274 FAX : 099-219-1279

E-mail : business@po.kric.or.jp

～モノづくりフェア2009 出展者募集！～

日刊工業新聞社では、変貌する時代のニーズに応えるモノづくりを通して、産業と地域の発展に貢献すべく、九州発の総合産業展「モノづくりフェア2009」を開催いたします。本展示会を自社の優れた技術・製品の紹介とアイデアの提案、また一層の発展にお役立ていただく場として、御出展いただきますよう御案内申し上げます。

【開催概要】

- 名 称 モノづくりフェア2009
- テ ー マ 「新たな発想と発見で未来の九州を構築」
- 会 期 2009年10月15日（木）～17日（土）10：00～17：00（最終日は16：00まで）
- 会 場 マリンメッセ福岡 〒812-0021 福岡市博多区沖浜町7-1
- 小 間 数 380小間
- 主 催 日刊工業新聞社
- 募集締切 2009年6月30日（火） ※第2次募集締切り日

【内 容】

1. モノづくりコーナー
2. 九州自動車生産推進コーナー
3. ロボット技術コーナー
4. <特設>生産要素技術・システムコーナー
5. エネルギー・環境コーナー
6. 中小企業支援機関コーナー
7. 産学官連携・団体PRコーナー

【基本小間及び出展料】

- ・左記1～5
間口2.97m×奥行2.97m×壁高2.7m
262,500円／小間
- ・左記6、7
間口2.1m×奥行1.8m×壁高2.7m
157,500円／小間

※左記2は、九州に所在地のある中小企業向けに別小間を設けてあります。

◆お問い合わせ・出展申込先

日刊工業新聞社 西部支社 業務部内 モノづくりフェア2009 展示会事務局

TEL : 092-271-5715 FAX : 092-271-5881

◆販路開拓助成金(出展支援等)に関するお問い合わせ先

(財)かごしま産業支援センター 新産業育成課 TEL : 099-219-1272

Information

1 中小企業テクノフェア in 九州 2009 の御案内

「中小企業テクノフェア in 九州 2009」は、中小企業の優秀な開発製品や技術力を一堂に展示実演し、広く発注企業、商社に対して「製品開発力」や「加工技術力」を紹介することによって広域的な受注機会の増大及び新規取引先の開拓を促進し、更には、出展企業間や発注企業・商社との相互の交流を深め、「ものづくり」を通じて国内外の産業の振興に貢献することを目的として開催されます。

この機会に、自社のビジネス拡大を図る場として御活用いただきますようお願いいたします。

◆開催概要

- 名 称 中小企業テクノフェア in 九州 2009
- 会 期 平成21年10月21日（水）～23日（金）10：00～17：00
- 会 場 西日本総合展示場・新館 〒802-0001 北九州市小倉北区浅野3丁目8番1号
- 小 間 数 60小間
- 主 催 (財)西日本産業貿易コンベンション協会
- 協 力 九州各県支援センター（予定）
- 後 援 九州経済産業局、九州・沖縄各県、中小企業基盤整備機構 他（予定）

◆特 色

1. 来場者数の促進が期待できる「エコテクノ2009」と同時開催
2. 地域力連携拠点等と連携したビジネスマッチング支援体制の導入（予定）
3. 出展企業の特徴ある製品や技術を報道機関に情報提供

◆内 容

●展示実演

(1) 企業の技術展示…企業の出展による加工部品、製品等の展示説明

- (A) 機械・金属加工・メカトロ関連
- (B) 医療・福祉関連
- (C) 環境関連
- (D) 情報通信・電子機器・ソフト関連
- (E) 自動車・ロボット・バイオ関連
- (F) ベンチャー企業・グループ関連

(2) 九州地域の中小企業支援機関の情報ブース

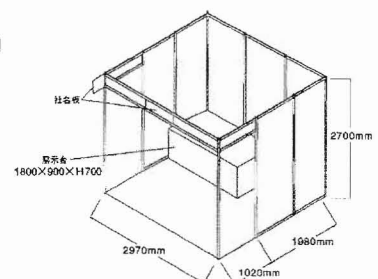
- ・中小企業への支援制度等の相談・説明
- ・支援機関活動のPR等の実施



テクノフェア風景

◆出展概要

- 出展小間 間口 2.97m × 奥行 3m (サイドパネル 2m) × 高さ 2.7m
- 小間装飾 パラペット、社名板、展示台 1 台 (180 cm × 90 cm)
- 出 展 料 九州各県支援センター登録企業 150,000 円/小間
非登録企業 180,000 円/小間
- 申込締切 平成 21 年 7 月 10 日
(満小間になり次第、締め切らせていただきます。)
- 出展者説明会 平成 21 年 9 月 (予定)
※会場、日程等は、後日事務局より連絡いたします。



小間イメージ

◆お問い合わせ・出展申込先

(財)西日本産業貿易コンベンション協会 事務局受付(田中・衛藤)
TEL : 093-511-6800 FAX : 093-521-8845

◆販路開拓助成金(出展支援等)に関するお問い合わせ先

(財)かごしま産業支援センター 新産業育成課 TEL : 099-219-1272

2 パソコン講座受講モデル

鹿児島県人材育成センターと上野原ビジネスプラザでは、各種パソコン講座を実施しています。
下記の**パソコン講座受講モデル**を参考に、自分の目的とレベルにあった講座に参加してみませんか！

区 分	人材育成センター（基礎）	上野原ビジネスプラザ（応用）
1 コンテンツ制作ができる人材育成		
①コンテンツ素材制作	デジカメ活用(Photoshop Elements 6) H21.10.26～H21.10.29	<pre> graph TD A[Photoshop<画像加工の基礎> H21.9.24～H21.9.26] --> B[Photoshop<画像加工の応用> H21.11.10～H21.11.12] B --> C[Illustrator<デザイン制作の基礎> H21.6.16～H21.6.17] C --> D[Illustrator<デザイン制作の応用> H21.8.25～H21.8.27] D --> E[Flash基礎<Webデザイン> H21.12.14～H21.12.15] </pre>
②Webコンテンツ制作	初心者のホームページ作成 (ホームページ・ビルダー 12) 今年度終了	<pre> graph TD A[DreamweaverとFireworks<Web制作> 今年度終了] --> B[XHTML&CSS入門 H21.7.27～H21.7.28] B --> C[PHP入門 H22.1.20～H22.1.22] C --> D[PERL・CGIの基礎 H22.2.8～H22.2.10] </pre>
③検索エンジン対策		<pre> graph TD A[SEO&SEM対策 H22.1.26] </pre>
2 ネットワーク技術を活用できる人材育成		
①ネットワーク構築		<pre> graph TD A[ネットワーク管理者になるためのLAN入門 今年度終了] --> B[WindowsLAN入門 H21.7.7～H21.7.8] B --> C[WindowsServer2003の導入と運用管理 H21.8.19～H21.8.20 H22.2.18～H22.2.19] </pre>
②情報セキュリティ		<pre> graph TD A[事例で学ぶ情報セキュリティ H21.12.4] --> B[インターネットセキュリティ入門 H21.11.25～H21.11.26] B --> C[個人情報保護法のための企業における対策基礎講座 H21.10.7～H21.10.8] </pre>

区 分	人材育成センター（基礎）	上野原ビジネスプラザ（応用）
3 業務を効率化できる人材育成		
①アプリケーション	初心者のエクセル(Excel 2007) H21.7.13～H21.7.23 H22.2.22～H22.3.3	Excel応用 → Excelマクロ/VBA基礎 H21.11.5～H21.11.6 → H21.12.16～H21.12.18 ↓ Excel VBA応用 H22.2.15～H22.2.17 Access基礎 → Access応用 H22.1.27～H22.1.28 → H21.6.25～H21.6.26 H22.2.24～H22.2.25 ↓ Accessマクロ/VBA基礎 H21.9.8～H21.9.10 ↓ AccessVBA応用 H21.10.21～H21.10.23 PowerPointビジネス活用 H21.7.15～H21.7.16
	プレゼンテーション基礎(PowerPoint2007) H21.8.3～H21.8.5 初心者のワード(Word 2007) H21.6.22～H21.7.1	OpenOffice.org入門 H21.9.16～H21.9.17
②言語利用		Visual Basic.NET入門 ↓ 今年度終了 Visual Basic.NET活用 H21.7.22～H21.7.24 Visual C#.NET入門 H21.11.17～H21.11.19 Javaプログラミング入門 ↓ H21.10.14～H21.10.16 Javaプログラミング中級 H21.12.9～H21.12.11
③情報化推進		IT基礎養成講座(ITパスポート試験対策講座) H21.8.5～H21.8.7

* 講座名下の日付は開催日程

受講申込み、問い合わせ先

鹿児島県人材育成センター

〒899-4332 霧島市国分中央3-44-36

電話：0995-47-3090 FAX0995-46-4413

URL：http://www.kric.or.jp/s_jinzai/top.html

上野原ビジネスプラザ

〒899-4317 霧島市国分上野原テクノパーク4-30

電話：0995-45-3511 FAX0995-48-5270

URL：http://www.kric.or.jp/s_plaza/top.html

上野原ビジネスプラザ・インキュベーターの御案内

当センターの上野原ビジネスプラザでは、起業家や新たな事業分野への展開を目指す中小企業の方々に、24時間無料でインターネット接続サービスが利用できる快適で低廉な料金のインキュベーターを用意し、皆様の入居をお待ちしています。

・インキュベーター 22室（平成21年6月1日現在5室が空室）

面積：31.5㎡～111.15㎡

月額使用料：49,612円～131,853円（敷金不要）

なお、創業5年未満の企業については、使用料の減免があります。

所在地：霧島市国分上野原テクノパーク4-30



■問合せ先■（財）かごしま産業支援センター 上野原ビジネスプラザ

〒899-4317 霧島市国分上野原テクノパーク4-30

TEL：0995-45-3511

FAX：0995-48-5270

E-mail：gyoumu@po.kric.or.jp

「かごしま企業情報」への掲載の御案内

当センターでは、県内中小企業の情報発信の充実と検索等の利便性を図ることを目的に、当センターのホームページ上に「かごしま企業情報」を構築し、掲載企業の募集をしています。

インターネットを使用しての登録・更新が可能で、登録企業側の操作もしやすくなっています。

一社でも多くの企業に掲載していただければビジネスチャンスの拡大に繋がることが期待されます。掲載料は無料ですので、お気軽に御登録ください。



■問合せ先■（財）かごしま産業支援センター 情報支援課

TEL：099-219-1275

FAX：099-219-1279

E-mail：info@po.kric.or.jp

センターホームページ「KISCネット21」の御案内

センターのホームページを御覧になったことがありますか？

こんなメニューがあります。

- ・センター・関連機関からのお知らせ
- ・ニーズ別に制度や業務相談窓口の紹介
- ・センターの調査物・刊行物の紹介
- ・ビジネスに役立つお勧めサイト など

ぜひ、御覧ください！！ URL：<http://www.kric.or.jp/>



■「情報KISC」の今月の表紙■

表紙写真は、澱粉食品素材で第8回かごしま産業技術賞特別賞を受賞された

日本澱粉工業株式会社

代表取締役社長 本坊治國

さんです。

日本澱粉工業株式会社

所在地：鹿児島市南栄3丁目20

TEL：099-269-1011

URL：<http://www.sunus.co.jp>

情報KISC 6月号

発行者：財団法人かごしま産業支援センター

〒892-0821 鹿児島市名山町9-1 鹿児島県産業会館2F

TEL 099-219-1270（代表）

FAX 099-219-1279

E-mail kisc@po.kric.or.jp

URL <http://www.kric.or.jp>